



耕作放棄地再生利用緊急対策を活用した取組、その他の対策事例の紹介をします。

今回の紹介地区 No.001 秋田県 鹿角市 末広地区

耕作放棄地再生利用緊急対策を活用した事例

状況

地区概要 : 農地面積 325.2ha、うち耕作放棄地 15.5ha
 放棄の理由 : 高齢化による労働力不足等
 荒廃の程度 : 草刈り等もなされておらず、人力、農業用機械、重機による作業が必要

取組概要

対象面積 : 3.12ha(畑) (再生作業単価 7万円/10aの計画)
 実施期間 : 平成21年6月20日～7月19日
 取組のきっかけ : 地域協議会が、3月に認定農業者及び集落営農組織等を対象に本制度の説明会を実施するとともに、4月には、市の広報にて制度の紹介を行ったところ、本生産法人から、事業の取組みについての応募があり、取組が具体化。
 調整経緯 : 地域協議会が地主と利用者との調整を行い、実施に至る
 取組主体 : 農業生産法人(予定作物:そば等)
 作業内容 : 刈払、抜根、整地等

今後の予定

平成21年7月下旬までに土壌改良(肥料投入)を実施し、その後にそば等を作付け予定。



再生作業前



再生作業実施中



再生作業後



今回の紹介地区 No.002 秋田県 大仙市 落合地区

耕作放棄地再生利用緊急対策及び水田等有効活用促進交付金を活用した事例

状況

地区概要:農地面積 65.6ha、うち耕作放棄地 3.5ha

放棄の理由:高齢化等により保全管理が困難になった

荒廃の程度:雑草の繁茂に加え雑木の侵入も認められ、人力、農業用機械、重機による作業が必要

取組概要

対象面積:3.5ha(田)(再生作業事業費 10.4万円/10aの計画)

実施期間:平成21年6月9日～再生作業実施中

取組のきっかけ:農事研究会(地区内の担い手等で構成)が経営規模拡大を図ろうとして、平成21年4月に農業委員会に相談したところ、地域協議会を紹介され、本制度の説明を受けた。

調整経緯:農事研究会が地主と交渉し、実施に至る

取組主体:農事研究会(予定作物:大豆、野菜等)

作業内容:刈払、抜根、整地等(重機等をリース)

今後の予定

大豆作付地(水田等有効活用促進交付金を適用)については、再生作業を終了し、既に播種済みである。その他の土地は、今年度、土壌改良まで実施し、来年度に野菜等を作付け予定。



再生作業前



再生作業実施中



再生作業後

今回の紹介地区 No.003 鳥取県 米子市 富益町地区

耕作放棄地再生利用緊急対策を活用した事例

状況

地区概要: 農地面積 6.5ha、うち耕作放棄地 2.8ha

放棄の理由: 離農・高齢化による労働力不足等

荒廃の程度: 雑草の繁茂に加え雑木の侵入も認められ、人力、農業用機械、重機による再生作業が必要

取組概要

対象面積: 1.5ha(畑) (再生作業事業費 10万円/10aの計画)

実施期間: 平成21年5月～

取組のきっかけ: 本対策について市が説明の機会を設け事業内容を農業者に紹介し、これを契機として当農業者が平成21年1月に耕作放棄地の利用権設定を自ら地主と行い事業に取り組むこととした

調整経緯: 同上

取組主体: 農業者(予定作物: ラッキョウの作付け)

作業内容: 刈払、抜根、整地等(重機等をリース)

今後の予定

施設等補完整備によりかん水施設の整備を実施。収穫したラッキョウは農協、食品製造会社への直接販売を計画している。



再生作業前



再生作業実施中



再生作業後

今回の紹介地区 No.004 鳥取県 境港市 中野地区他

ふるさと雇用再生特別交付金(厚生労働省)を活用した事例

状況

地区概要:農地面積 1.2ha、うち耕作放棄地 1.0ha

放棄の理由:離農・高齢化による労働力不足等

荒廃の程度:雑草の繁茂に加え農業用排水路の機能が低下、人力、農業用機械による再生作業に加え施設補完整備が必要

取組概要

対象面積:約1.0ha(畑)

実施期間:平成21年5月～

取組のきっかけ:財団法人境港市農業公社が耕作放棄地を利用して、かつて地域の主要作物であった和綿(伯州綿)を栽培、復活させ、地域産業の活性化を図る計画を策定(平成21年3月)

調整経緯:同上

取組主体:財団法人境港市農業公社(予定作物:伯州綿)

作業内容:ふるさと雇用再生特別交付金により、臨時職員を5人雇用し、遊休農地に伯州綿を栽培

今後の予定

秋に伯州綿を収穫し、布団店に販売するほか、子供服やタオル、カッターシャツなどの生地への利用を企業に提案していく予定。

